



駒岡小学校だより

10月号

開かれた学校、地域に開いた学校

校長 松本 稔

9月の5日より学校を開く週間がございました。授業をご参観いただける週間としてご案内しています。同時に夏休みに取り組んだ作品展も実施いたしました。学校を開く週間の最終日の9日には、道徳の授業を全校で行い保護者の皆様には、授業参観としてご案内いたしました。当日には学校運営委員会の委員の皆様にもご参観いただき、人権教育や道徳の授業についての貴重なご意見をいただきました。



「学校、家庭、地域の連携の大切さ」と同じように「学校は地域や保護者に開かれていなければならない。」と言われてきました。「学校の授業や様々な活動をいつでもご参観いただけること」と「学校での様々な情報を積極的に地域や保護者に発信していくこと」が主な内容です。そうした取り組みによって、学校教育のご理解とご協力をいただくきっかけになると思われまます。

学校が保護者の皆様に向かって開くと同じように、地域に向かって開く活動というものもごございます。そのひとつとして、9月の11日に行われました「敬老慰安会」に駒岡小学校の児童が参加いたしました。

「3年生の合唱と合奏」「コーラスクラブの合唱」「マーチングクラブの発表」をご披露させていただきました。駒岡小学校を知っていただき、児童も地域を知る良い機会にもなります。

10月9日の駒岡連合運動会にもマーチングクラブが発表いたします。こうした学校を開く週間や学校から地域へ発信する機会がある意義を改めて感じることができました。

<うれしいお電話とお届け物>

9月11日の敬老慰安会の数日後には、嬉しいお電話やお届け物がございました。地域の方からのお電話で、「小学生の皆さんの歌や演奏がとても素晴らしかったです。涙が出るほどよかったです。家に帰っても、うれしい気持ちはずっと続いています。来年もよろしく願います。」

というご丁寧なお電話でした。丁重にお礼を申し上げます。

同じように、とてもうれしいお届け物がございました。発表させていただいた子ども達の写真でした。お名前もおっしゃらずに、校門を通りかかった本校の職員にお渡しいただきました。とてもよく取れている写真でした。うれしい限りです。ありがとうございました。

<お寄せいただいたご意見ご感想>

授業参観が行われる時には必ずご覧になってのご意見やご感想をお寄せいただいています。大変貴重なご意見や元気をいただけるご感想がたくさんありました。

学校を開く週間、並びに道徳の授業のご感想をご紹介します。

紙面の都合でほんの一部で申し訳ございません。お寄せいただきましたことに感謝申し上げ、ご意見に対して、真摯に受け止め教育活動に生かしていきたいと思ひます。ありがとうございました。

- ・いつどの時間に行っても参観できるのが、より自然体な子ども達の姿が見られてよかったと思ひます。給食の意準備や掃除の時間なども、みんな協力し合って取り組んでいる姿、そしてたくさん笑顔も見られました。
- ・初めて音楽の授業を拝見しました。みんな一生懸命で楽しそうでした。音楽の先生も音楽だけではなく、子ども達のために思っけて接してくれていることがわかりました。子ども達はいろんな先生に見守られていてうれしかったです。
- ・子供にとっては大人や知らない人に挨拶をすることは勇気のいることであると思ひます。身近な親が、周りに丁寧に接していくところを、見せられればいいと思ひます。
- ・授業の参観させていただきありがとうございました。身近に死を経験したことがない子ども達にとって、心に重く感じたように思いました。泣いているお友達もいたようで、『いずれ自分も』と気持ちが重なる思いはとてもよく分かる気持ちだと思ひました。その中で自分の気持ちを手を挙げて伝えられるお友達はすごいと思ひました。先に旅立つおじいさんやおばあさんに優しい気持ちで日々を過ごしてほしいと思ひました。懇談会ではゆっくりお話ができうれしく思ひました。子ども達の様子もわかり、先生の大変さも痛感いたしました。